

【ご報告書】 除草剤に関する調査 <2019年度>

2019年10月

緑地管理協議会調べ

1. 調査概要

調査の背景

- ρ 現在、除草剤には、「登録農薬」と「無登録農薬」の商品があるが、本来、除草剤としては「登録農薬」が使用されるべきである。そのため、貴研究会においては、一般消費者における除草剤の使用状況等を把握し、「登録農薬」の普及における基礎資料を作成したいとお考えである。

調査の目的

- ρ 一般消費者の除草剤の使用実態、また、登録農薬の認知状況を明らかにする。
- ρ 2014年度、2017年度に実施した「除草剤調査」の結果と比較をし、経年での相違点を明らかにする。

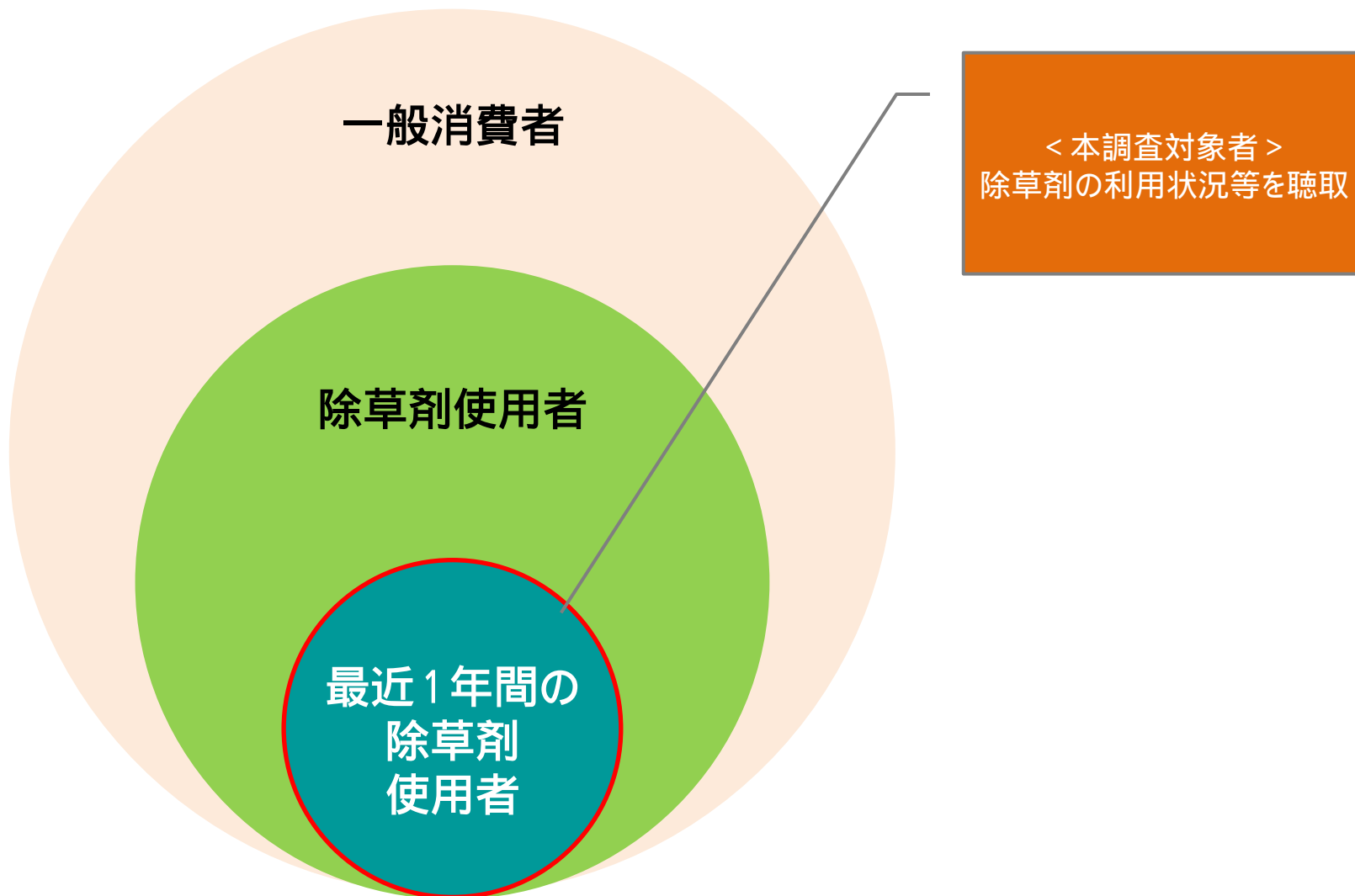
調査課題

以下の内容を定量的に把握する。

- ρ 登録農薬認知状況
- ρ 除草剤の購入・使用状況(主使用製品、使用場面等)
- ρ 除草剤の使用後評価(商品満足度)
- ρ 除草剤製品選択時の優先事項・今後使用したい除草剤

調査スキーム

本調査は、最近1年間の「除草剤」利用者を対象とし、調査を実施した。



調査概要

調査目的

p 一般消費者の除草剤の使用実態、また、登録農薬の認知状況を明らかにする

対象者条件

p 全国
p 20～79歳男女
p 最近1年間に「除草剤」を使用した人
p 以下の職業に本人または同居者が従事している人は対象外とする
業種：「農業・林業」、「広告」、「出版」、「マスコミ」、「市場調査」
本調査は、一般消費者を対象とするため、農薬・薬品を日常的に使用する方（農業・林業従事者）は調査対象から除外した。
2014年度、2017年度の各調査協力者も調査対象から除外した。

調査手法

p インターネット調査（使用パネル：クロス・マーケティングアンケートモニター）

サンプルサイズ

p 本調査：1,000ss（スクリーニング回収数：9,870ss）

本調査における 性年代別 サンプルサイズ

p 右表の通り
本調査では性別・年齢での割付は
せずに回収を行った。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	
男性	31	63	94	93	126	147	(ss)
女性	39	58	66	83	91	109	

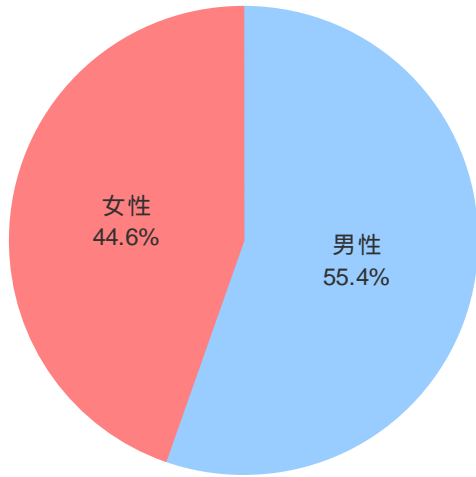
調査期間

p 2019年8月23日(金)～8月27日(火)

2. 回答者プロフィール

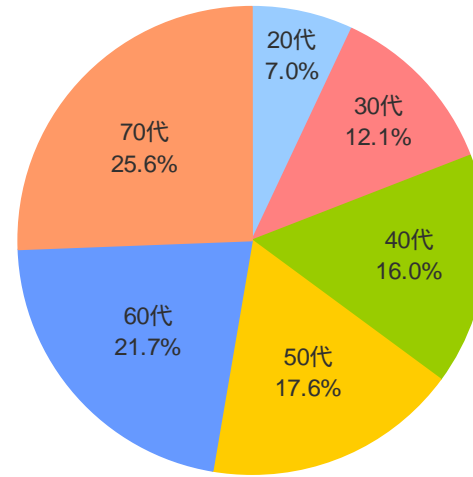
回答者プロフィール

性別



(n=1,000)

年代

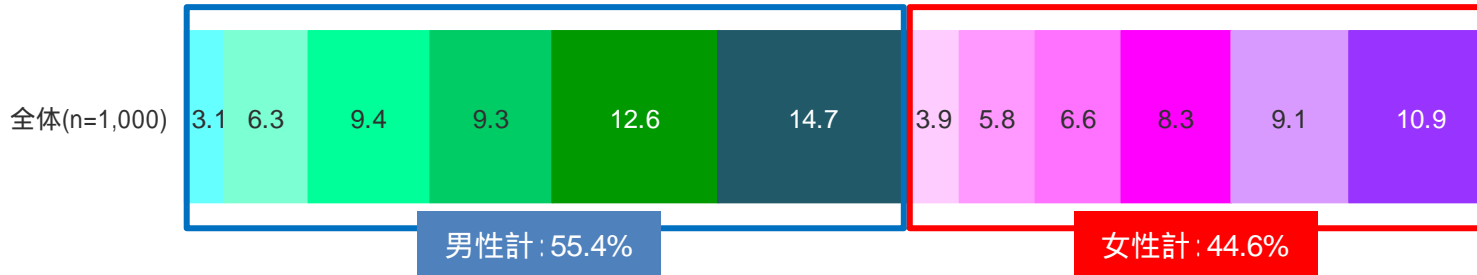


(n=1,000)

性年代

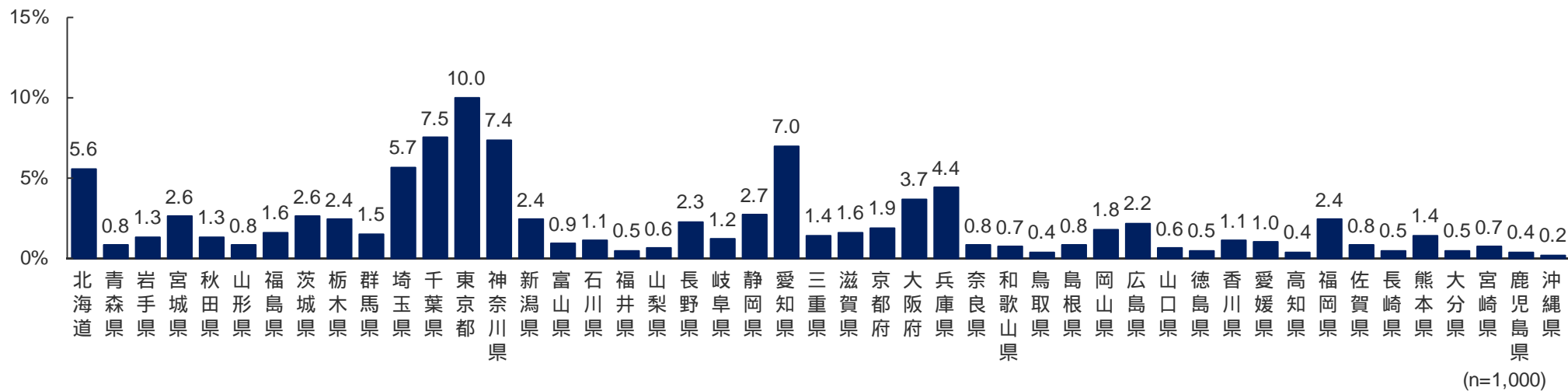


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

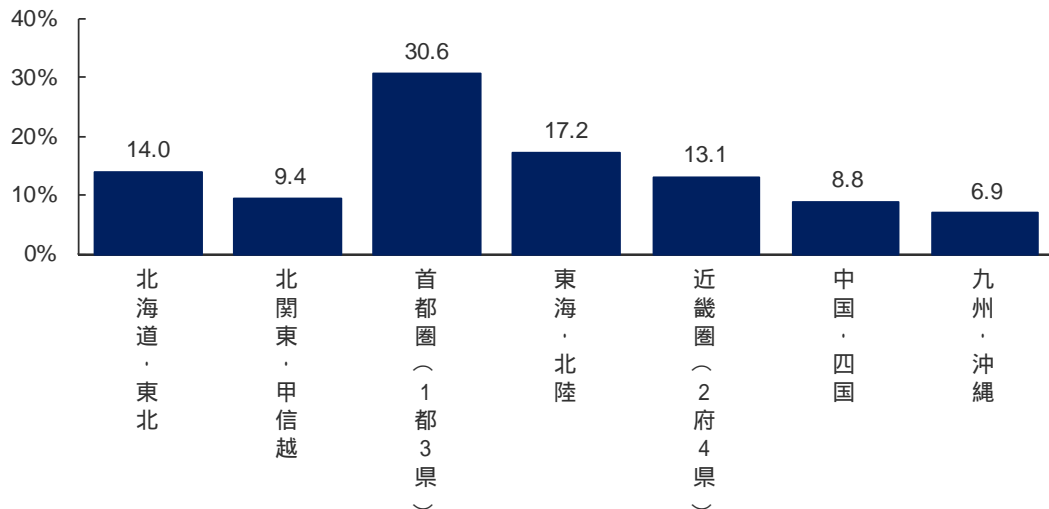


回答者プロフィール

居住地(都道府県別)



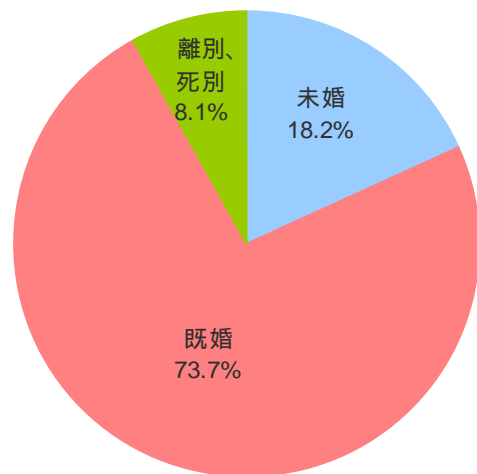
居住地(エリア別)



(n=1,000)

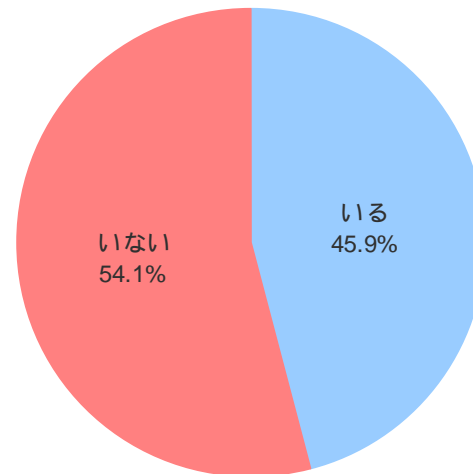
回答者プロフィール

婚姻状況



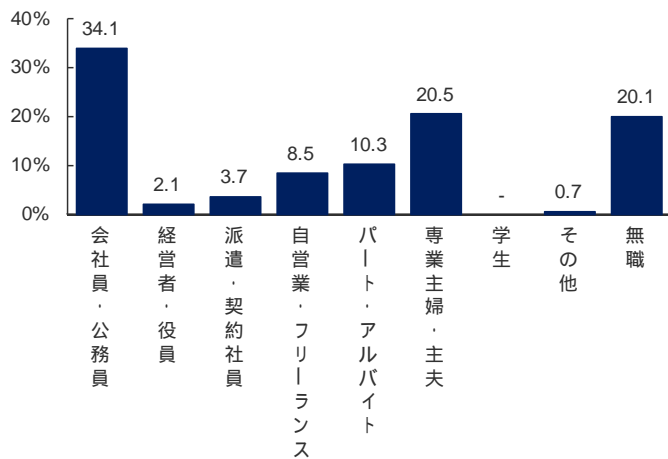
(n=1,000)

子供有無



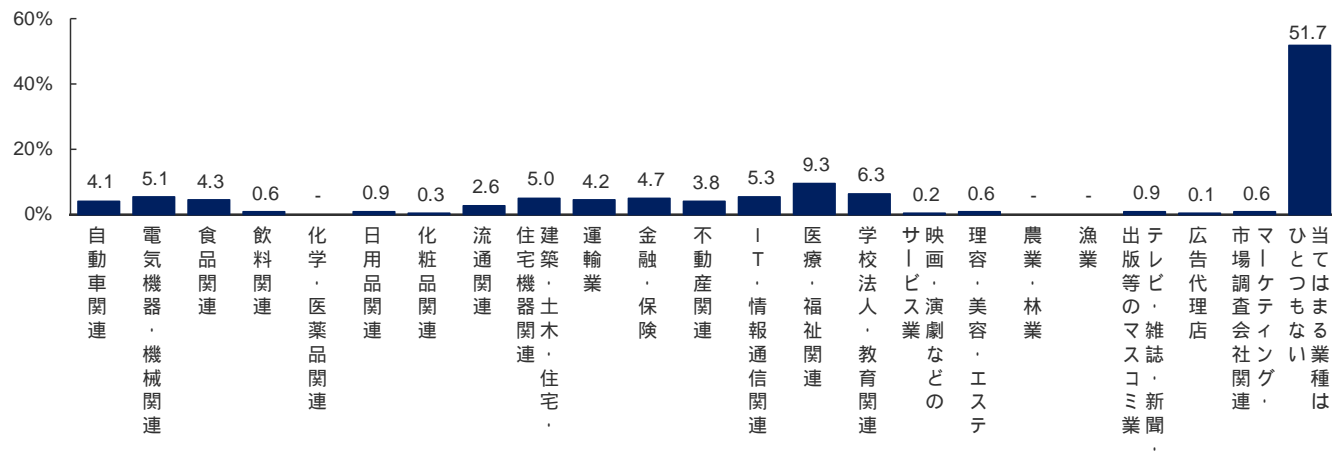
(n=1,000)

職業



(n=1,000)

職種

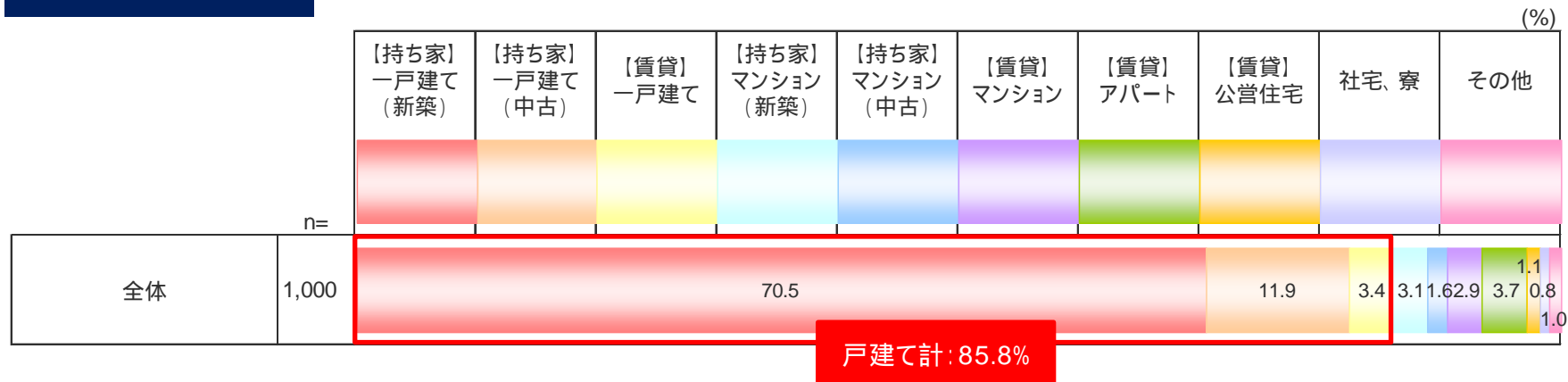


(n=1,000)

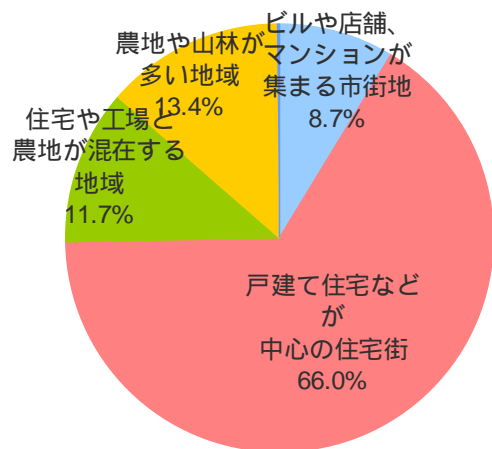
回答者プロフィール

本調査対象者の居住形態をみると、全体の85.8%が「戸建て」となっている。

居住形態別

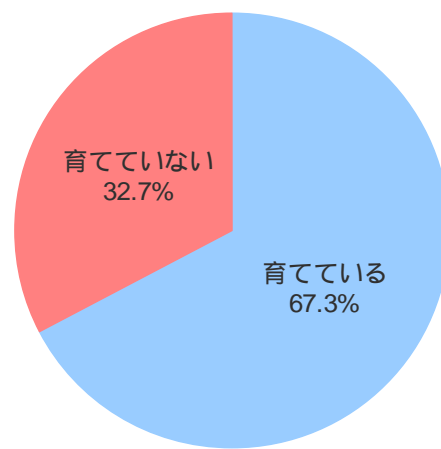


居住地域環境



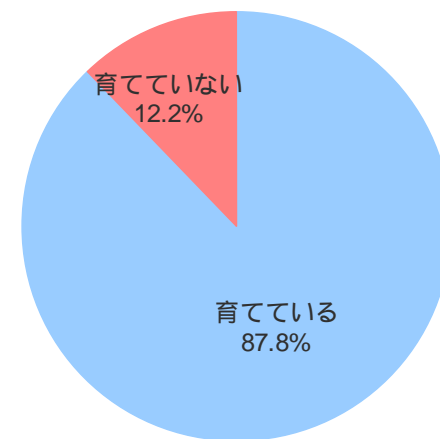
(n=1,000)

植物育成有無(ご自宅)



(n=1,000)

植物育成有無(ご自身)



(n=673)

3. 調査結果

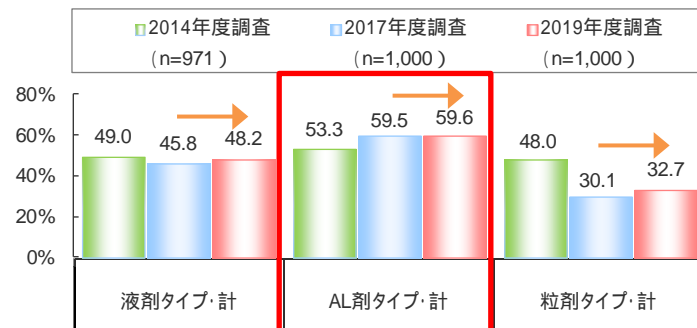
(1) 今までに使用したことのある除草剤製品

今までに使用したことのある除草剤の製品タイプをみると、「AL剤タイプ」が59.6%で最も多く、以下、「液剤タイプ」(48.2%)、「粒剤タイプ」(32.7%)の順となっている。

なお、前回結果(2017年度調査)との比較では、いずれの製品タイプについても、大きな変化はみられない。

今までに使用した除草剤の製品タイプ構成 ＜時系列比較＞

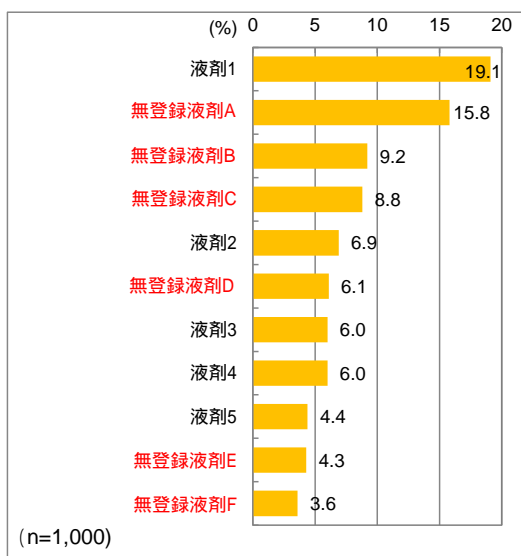
複数回答
使用したことのある製品として
複数回答で選択されたものを
製品タイプ別にくった結果



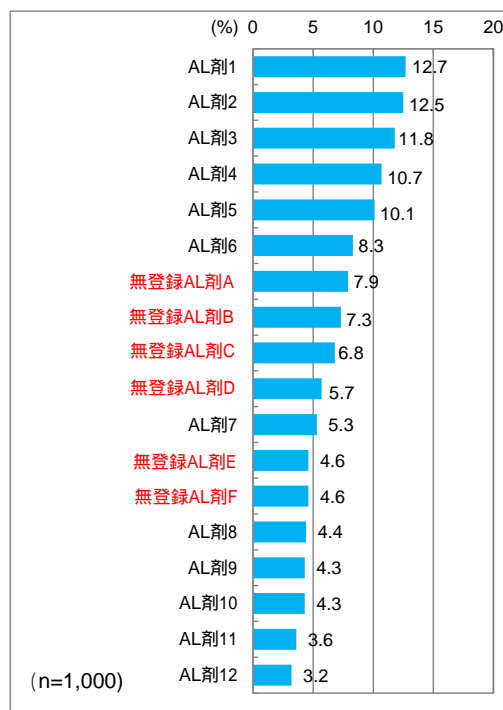
今までに使用したことのある除草剤製品

複数回答
製品タイプ別に区分の上、全体スコアで
降順で並び替え

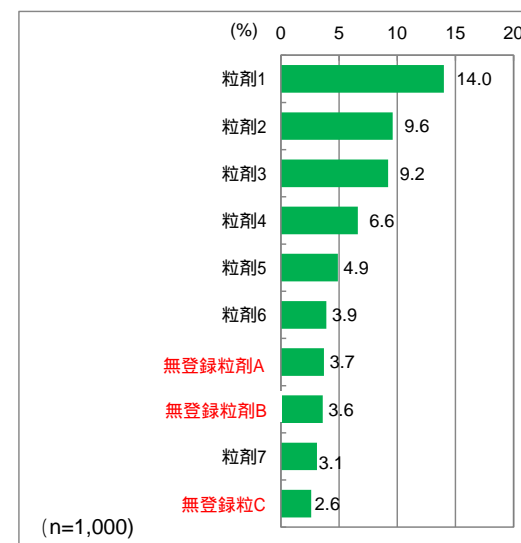
液剤タイプ



AL剤タイプ



粒剤タイプ



(2) 直近で使用した除草剤製品

直近で使用した除草剤の製品タイプ構成をみると、「AL剤タイプ」が45.2%で最も多く、以下、「液剤タイプ」(34.7%)、「粒剤タイプ」(20.1%)の順となっている。

なお、前回結果(2017年度調査)との比較では、製品タイプ構成に大きな変化はみられない。

直近で使用した除草剤の製品タイプ構成 <時系列比較>

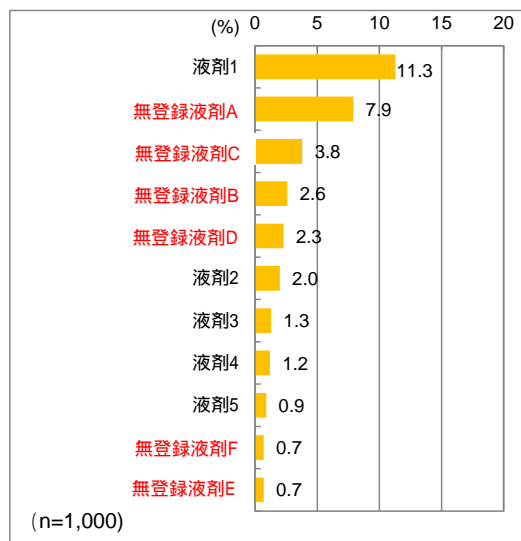
直近で使用したことのある製品としてひとつだけで選択されたものを製品タイプ別にくった結果

		(%)	液剤タイプ計	AL剤タイプ計	粒剤タイプ計
		n=			
2019年度調査	1,000		34.7	45.2	20.1
2017年度調査	1,000		35.1	45.5	19.4
2014年度調査	971		35.8	35.8	21.6

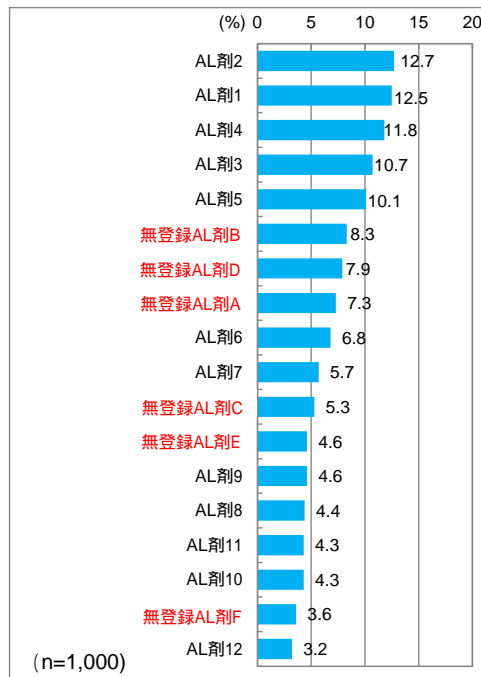
直近で使用した除草剤製品

製品タイプ別に区分の上、全体スコアで降順で並び替え

液剤タイプ



AL剤タイプ



粒剤タイプ



(3) 直近使用除草剤における登録農薬有無構成

直近で使用した除草剤の登録農薬有無構成をみると、全体では「無登録農薬・計」が30.5%となっており、前回結果(2017年度調査)との比較では、大きな変化はみられない。

直近で使用した除草剤の登録農薬有無構成 <時系列比較>

	(%)	登録農薬・計	無登録農薬・計
	n=		
2019年度調査	1,000	69.5	30.5
2017年度調査	1,000	70.2	29.8
2014年度調査	971	83.0	17.0

(4) 直近使用除草剤の「無登録農薬」製品使用状況

直近で使用した除草剤が「無登録農薬」である人の割合を性年代別にみると、前回結果(2017年度調査)との比較では、男性30代以下、また、女性40代・60代で「無登録農薬」使用者の割合が増加している。

直近使用除草剤の「無登録農薬」製品使用状況 < 性年代別: 前回比較 >

2017年度調査 < 前回結果 >		性年代別	2019年度調査 < 今回結果 >		スコア差(pts) 2019年-2017年
無登録農薬利用者割合 (%)	n		n	無登録農薬利用者割合 (%)	
29.8	1,000	全体	1,000	30.5	+0.7
28.7	543	男性・計	554	28.9	+0.2
34.7	49	男性20代	31	38.7	+4.0
30.3	76	男性30代	63	42.9	+12.6
30.0	90	男性40代	94	22.3	-7.7
20.4	98	男性50代	93	22.6	+2.2
28.8	156	男性60代	126	24.6	-4.2
32.4	74	男性70代	147	32.7	+0.3
31.1	457	女性・計	446	32.5	+1.4
41.9	43	女性20代	39	30.8	-11.1
34.9	63	女性30代	58	32.8	-2.1
25.7	74	女性40代	66	36.4	+10.7
28.1	89	女性50代	83	30.1	+2.0
29.2	113	女性60代	91	37.4	+8.2
33.3	75	女性70代	109	28.4	-4.9

(5) 除草剤に「登録農薬」があることの認知状況

除草剤に「登録農薬」があることを認知しているかを確認したところ、全体では24.5%となっており、前回結果(2017年度調査)とほぼ同レベルで推移している。

ただし、性年代別にみると、男女とも20代での認知が前回結果を上回る傾向となっている。

除草剤に「登録農薬」があることの認知状況

< 時系列比較 >

	n	認知状況 (%)	
		知っていた	知らなかった
2019年度調査	1,000	24.5	75.5
2017年度調査	1,000	24.4	75.6
2014年度調査	971	23.1	76.9

< 性年代別: 前回比較 >

2017年度調査 < 前回結果 >		性年代別	2019年度調査 < 今回結果 >		スコア差(pts) 2019年-2017年
登録農薬認知者割合 (%)	n		n	登録農薬認知者割合 (%)	
24.4	1000	全体	1,000	24.5	+0.1
27.4	543	男性・計	554	27.8	+0.4
32.7	49	男性20代	31	41.9	+9.2
30.3	76	男性30代	63	28.6	-1.7
24.4	90	男性40代	94	26.6	+2.2
25.5	98	男性50代	93	31.2	+5.7
26.3	156	男性60代	126	27.8	+1.5
29.7	74	男性70代	147	23.1	-6.6
20.8	457	女性・計	446	20.4	-0.4
27.9	43	女性20代	39	43.6	+15.7
19.0	63	女性30代	58	15.5	-3.5
16.2	74	女性40代	66	21.2	+5.0
20.2	89	女性50代	83	18.1	-2.1
17.7	113	女性60代	91	22.0	+4.3
28.0	75	女性70代	109	14.7	-13.3

< 実査時の呈示説明文 >

「登録農薬」とは・・・国の厳しい審査を経て登録された農薬で、安全性について厳しい基準があり、使用にあたっての基準も明確に定められています。

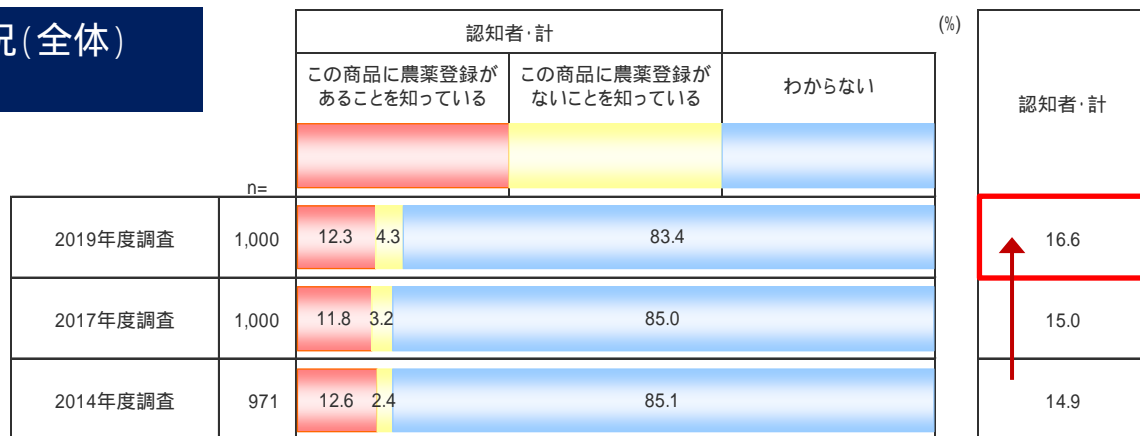
(6) 直近使用除草剤の「登録農薬」有無認知状況

直近で使用した除草剤製品の「登録農薬」有無の認知状況をみると、認知者は全体の16.6%となっており、2014年度の調査開始時から、徐々に認知者の割合が増えている。

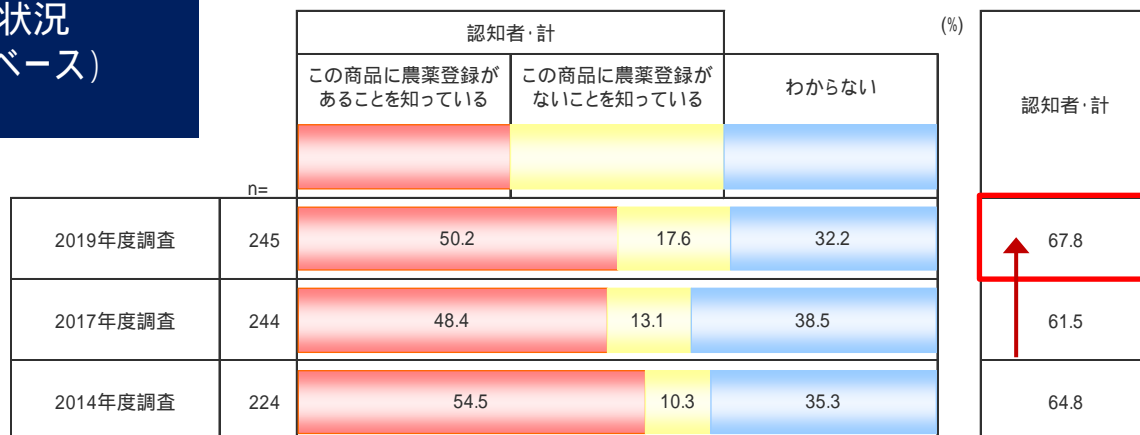
また、除草剤に「登録農薬」があることを認知している人に絞り、直近で使用した除草剤製品の「登録農薬」有無の認知状況を確認したところ、認知者は全体の67.8%となっており、前回結果(2017年度調査)をやや上回っている。

直近使用除草剤の「登録農薬」有無認知状況(全体) ＜時系列比較＞

除草剤に「登録農薬」があることを知らない人は、「わからない」に含み、全体結果として算出



直近使用除草剤の「登録農薬」有無認知状況 (除草剤に「登録農薬」があることの認知者ベース) ＜時系列比較＞

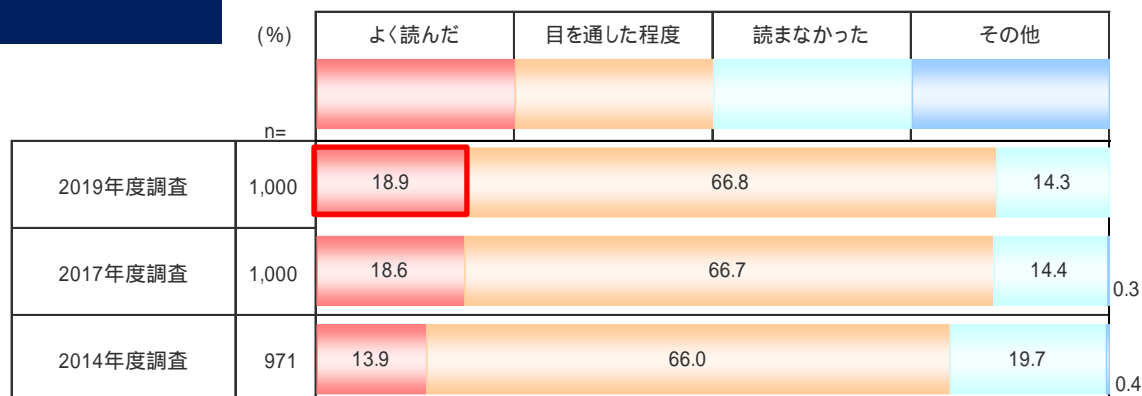


(7) 直近使用除草剤購入時の商品ラベル確認状況

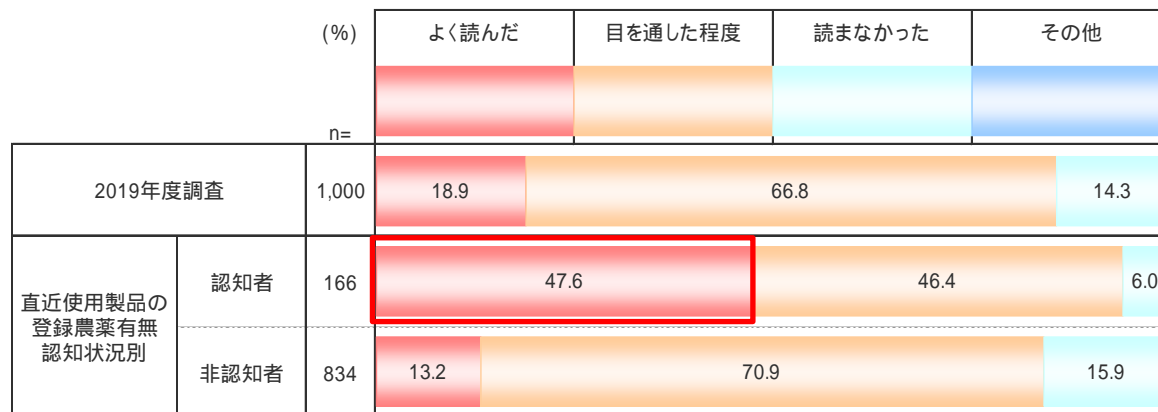
直近で使用した除草剤製品購入時の商品ラベル確認状況をみると、全体では「よく読んだ」が18.9%となっており、前回結果(2017年度調査)との比較では、大きな変化はみられない。

また、直近で使用した除草剤製品の「登録農薬」有無の認知状況別にみると、『認知者』では、「よく読んだ」が47.6%となっており、全体スコアを大きく上回っている。

直近使用除草剤購入時の商品ラベル確認状況 <時系列比較>



直近使用除草剤購入時の商品ラベル確認状況 (直近使用製品の「登録農薬」有無認知状況別)



(8) - 1 除草剤製品の購入時の「注意文」について < 確認状況 >

除草剤製品の購入時の「無登録農薬製品に関する【注意文】の確認状況をみると、ECサイトでの購入時については、全体の35.0%が「見たことがある」と回答。また、店頭での購入時については、全体の21.0%が「見たことがある」と回答している。

なお、直近で使用した除草剤製品の「登録農薬」有無の認知状況別にみると、店頭での購入時では、『認知者』の約6割が【注意文】を確認しているのに対し、『非認知者』では1割強となっており、確認状況の差が顕著となっている。

除草剤製品購入時の【注意文】確認状況 (直近使用製品の「登録農薬」有無認知状況別)

< 実査時の呈示説明文 >

店頭での棚や通販サイトの商品ページに掲載している注意文 (例として、2つの注意文を挙げております)	
例①	「こちらの除草剤は、農業として使用することができません。 このため、農作物や樹木・芝・花き等の植物の栽培・管理には使用できません。」
例②	「本剤は農業として使用できません。」

ECサイトでの購入時について (ECサイトでの購入経験者ベース)

		(%)	見たことがある	見たことはない	わからない・ 覚えていない
		n=			
2019年度調査		117	35.0	32.5	32.5
直近使用製品の 登録農薬有無 認知状況別	認知者	90	65.8	23.7	10.5
	非認知者	27	20.3	36.7	43.0

店頭での購入時について (店頭での購入経験者ベース)

		(%)	見たことがある	見たことはない	わからない・ 覚えていない
		n=			
2019年度調査		984	21.0	37.1	41.9
直近使用製品の 登録農薬有無 認知状況別	認知者	679	57.4	25.3	17.3
	非認知者	305	13.9	39.4	46.7

(8) - 2 除草剤製品の購入時の「注意文」について < 理解度 >

除草剤製品の購入時の『無登録農薬製品』に関する【注意文】の理解度をみると、全体では「注意すべき点が思いつく」が54.9%となっている。

性年代別にみると、属性間で若干、理解度に差はあるものの、「思いつかない」と回答している割合がやや目立っている。

なお、各回答者の【注意文】に関する意見を抜粋した内容は、以下の通り。

除草剤製品購入時の【注意文】理解度 (性年代別)

		(%)	注意すべき点が 思いつく	注意すべき点は 思いつかない
2019年度調査		n=	54.9	45.1
性 年 代 別	男性・計	554	54.2	45.8
	男性20代	31	41.9	58.1
	男性30代	63	50.8	49.2
	男性40代	94	62.8	37.2
	男性50代	93	60.2	39.8
	男性60代	126	50.0	50.0
	男性70代	147	52.4	47.6
	女性・計	446	55.8	44.2
	女性20代	39	66.7	33.3
	女性30代	58	53.4	46.6
	女性40代	66	53.0	47.0
	女性50代	83	48.2	51.8
	女性60代	91	53.8	46.2
	女性70代	109	62.4	37.6

「この除草剤は農薬として使用することができません」という注意文を店頭など、購入時に目にした場合、注意すべき点が思いつくかを確認した結果

「注意すべき点」として思いつく点(主要意見を抜粋)

- ・この除草剤は農耕地や庭には使用できないということ (男性50代)
- ・この薬剤を使用した農産物を食べることにより、人体に何らかの悪影響が出る (女性60代)
- ・安全性が確かではないので 散布する場所を考える (女性50代)
- ・一般家庭向きで、手軽 (男性50代)
- ・強い製品なので人間が口にする植物などに使うことができない (女性60代)
- ・効き目がゆるめで、植物を枯らしてしまうことはない (女性50代)
- ・散布しても効果がない、安全性に問題がある (女性70代)
- ・樹木や花、野菜の苗などの周りでは使えない (女性30代)
- ・人が行き来するところでは使わないようにする (男性50代)
- ・農薬ではないので安全性に問題がある (男性70代)

「注意すべき点」として思いつかない理由(主要意見を抜粋)

- ・そもそも農薬の概念が理解できていないため、主旨が理解できない (男性50代)
- ・なぜ農薬として使用できないのかが具体例がないのでわからない (男性30代)
- ・どのような場所、目的で使用するのか不明 (男性70代)
- ・なぜ、除草剤が農薬なのか? (男性60代)
- ・除草剤と農薬との違い、農薬の使用場面とは? (男性70代)
- ・効果が薄いということか、安全なのか危険なのか、よく分からない (女性20代)
- ・除草剤が農薬だと思ってないから (女性50代)
- ・農薬の分類がよくわからない、除草剤はすべて農薬という認識 (男性40代)

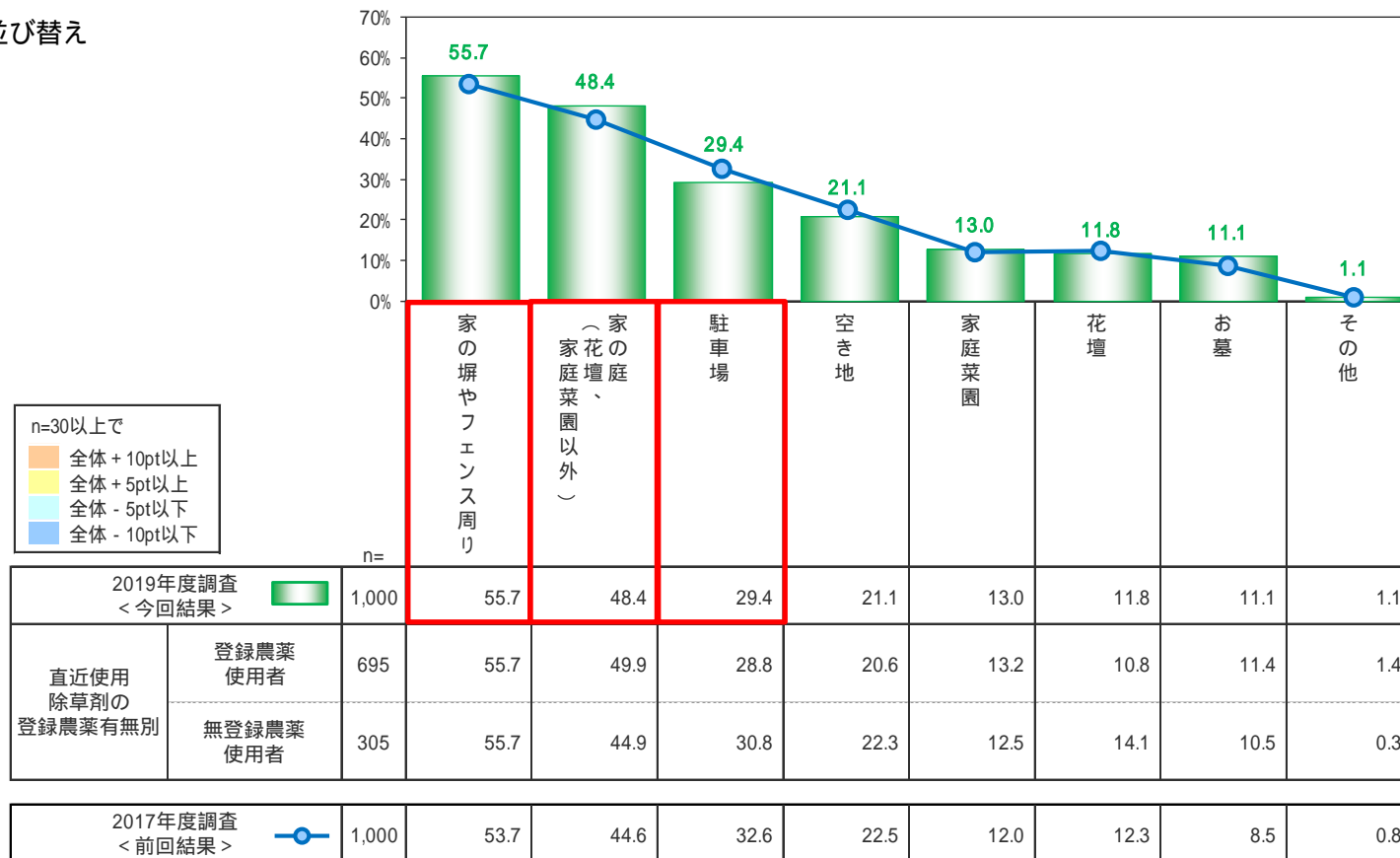
(9) 直近の除草剤使用場所

直近で使用した除草剤の使用場所をみると、全体では「家の塀やフェンス周り」が55.7%と最も多く、以下、「家の庭（花壇、家庭菜園以外）」（48.4%）、「駐車場」（29.4%）の順となっている。なお、前回結果（2017年度調査）と同傾向となっている。

直近使用除草剤の「登録農薬」有無別にみても、使用場所に大きな違いはみられない。

直近の除草剤使用場所 (直近使用除草剤の「登録農薬」有無別)

複数回答
グラフは全体スコアで降順に並び替え



(10) - 1 直近の除草剤使用場所における植栽状況 < 全体 >

直近で使用した除草剤の使用場所の植栽状況を確認したところ、「花壇」での除草剤使用者の66.9%、また、「家庭菜園」での除草剤使用者の46.9%が、「散布した場所から1m程度以内に樹木や草花があった」と回答している。

直近の除草剤使用場所における植栽状況 (全体)

呈示画像	周辺に樹木や草花が全くない場所	使用場所	散布した場所から1m程度以内に樹木や草花のある場所 (%)	呈示画像
	71.1	駐車場 (n=294)	28.9	
	67.5	家の塀やフェンス周り (n=557)	32.5	
	33.1	花壇 (n=118)	66.9	
	53.1	家庭菜園 (n=130)	46.9	
	68.8	家の庭 (n=484) 花壇、家庭菜園以外	31.2	
	62.6	空き地 (n=211)	37.4	
	67.6	お墓 (n=111)	32.4	

全体
(n=1,000)

各使用場所ごとに、その場所で除草剤を使用している人に聴取

(10) - 2 直近の除草剤使用場所における植栽状況 < 『登録農薬』使用者ベース >

直近で使用した除草剤の使用場所の植栽状況を、直近の使用除草剤が『登録農薬』である人に絞り、確認したところ、全体結果とほぼ同様の傾向となっているが、「花壇」での除草剤使用者においては、「散布場所から1m程度以内に樹木や草花があった」と回答している人が65.3%とやや多くなっている。

直近の除草剤使用場所における植栽状況 (直近使用除草剤: 登録農薬ベース)

呈示画像	周辺に樹木や草花が全くない場所	使用場所	散布した場所から1m程度以内に樹木や草花のある場所 (%)	呈示画像
	70.5	駐車場 (n=200)	29.5	
	68.5	家の塀やフェンス周り (n=387)	31.5	
	34.7	花壇 (n=75)	65.3	
	54.3	家庭菜園 (n=92)	45.7	
	70.0	家の庭 (n=347) 花壇、家庭菜園以外	30.0	
	62.2	空き地 (n=143)	37.8	
	70.9	お墓 (n=79)	29.1	

登録農薬製品
使用者ベース
(n=695)

各使用場所ごとに、その場所で除草剤を使用している人に聴取

(10) - 3 直近の除草剤使用場所における植栽状況 < 『無登録農薬』使用者ベース >

直近で使用した除草剤の使用場所の植栽状況を、直近の使用除草剤が『無登録農薬』である人に絞り、確認したところ、全体結果と同様の傾向となっており、「花壇」での除草剤使用者においては、「散布した場所から1m程度以内に樹木や草花があった」と回答している人が69.8%と約7割を占めている。

直近の除草剤使用場所における植栽状況 (直近使用除草剤: 無登録農薬ベース)

表示画像	周辺に樹木や草花が全くない場所	使用場所	散布した場所から1m程度以内に樹木や草花のある場所	表示画像
	72.3	駐車場 (n=94)	27.7	
	65.3	家の塀やフェンス周り (n=170)	34.7	
	30.2	花壇 (n=43)	69.8	
	50.0	家庭菜園 (n=38)	50.0	
	65.7	家の庭 (n=137) 花壇、家庭菜園以外	34.3	
	63.2	空き地 (n=68)	36.8	
	59.4	お墓 (n=32)	40.6	

無登録農薬製品
使用者ベース
(n=305)

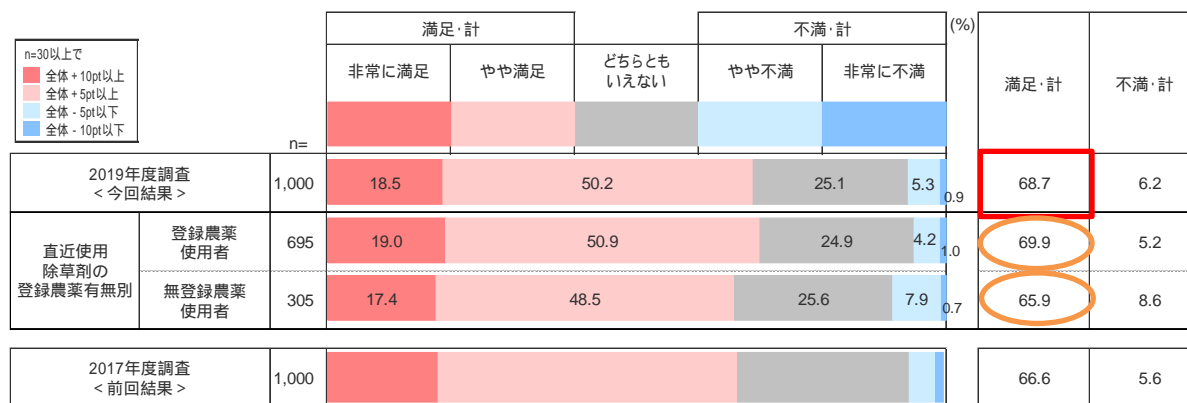
各使用場所ごとに、その場所で除草剤を使用している人に聴取

(11) 直近使用除草剤の使用効果満足度

直近で使用した除草剤の使用効果満足度をみると、全体では「満足・計」(非常に満足 + やや満足)が68.7%となっており、前回結果(2017年度調査)との比較では、ほぼ同レベルで推移している。

直近使用除草剤の「登録農薬」有無別にみると、『登録農薬』と『無登録農薬』の満足度に大きな差はみられない。なお、使用効果満足度の回答理由(自由回答)をカテゴリー化したランキング結果は、以下の通り。

直近使用除草剤の使用効果満足度(直近使用除草剤の「登録農薬」有無別)



直近使用除草剤の使用効果満足度回答理由ランキング

複数回答
特になし・わからないを除く

「満足」と回答した人の回答理由 <TOP5>

『登録農薬』使用者 (n=486)

- Top1: 除草ができるから・雑草が枯れるから (209件)
- Top2: 効果が強いから・よく枯れるから (57件)
- Top3: 効果が継続するから (51件)
- Top4: すぐに効果が出るから (31件)
- Top5: 手軽に使えるから (28件)

『無登録農薬』使用者 (n=201)

- Top1: 除草ができるから・雑草が枯れるから (90件)
- Top2: 効果が強いから・よく枯れるから (20件)
- Top3: すぐに効果が出るから (15件)
- Top4: 手軽に使えるから (11件)
- Top5: コスパがよいから (10件)

「不満足」と回答した人の回答理由 <TOP5> (どちらともいえないを含む)

『登録農薬』使用者 (n=209)

- Top1: 効果が弱いから (57件)
- Top2: 効果が継続しないから (43件)
- Top3: 効果の出ない植物があるから (6件)
- Top4: 効果が不安定だから (5件)
- Top5: 即効性がないから (4件)

『無登録農薬』使用者 (n=104)

- Top1: 効果が弱いから (31件)
- Top2: 効果が継続しないから (19件)
- Top3: 即効性がないから (5件)
- Top4: 効果の出ない植物があるから (4件)
- Top5: 効果が不安定だから (3件)

(12) 「農薬登録されていない除草剤」を使用してもよいと思う場所

「農薬登録されていない除草剤」を使用してもよいと思う場所を確認した結果は、下図の通りで、前回結果(2017年度調査)とほぼ同傾向となっている。

なお、直近使用の除草剤の「登録農薬」有無別にみると、『無登録農薬』使用者では、「宅地」が53.4%と半数を占めており、住宅地であれば、どのような場面においても使用できると誤認している可能性がある。

「農薬登録されていない除草剤」を使用してもよいと思う場所(直近使用除草剤の「登録農薬」有無別)

複数回答

グラフは全体スコアで降順に並び替え



(13) 今後使用したいと思う除草剤

今後使用したいと思う除草剤を確認したところ、全体では、「登録農薬の除草剤を使用したい」が33.9%となっており、「農薬登録されていない除草剤を使用したい」が3.5%となっている。また、「わからない・答えられない」が62.6%と半数以上を占めており、前回結果(2017年度調査)と同様に、除草剤に対する意識の低さが窺える。

なお、今後使用したいと思う除草剤の回答理由(自由回答)をカテゴリー化したランキング結果は、以下の通り。

今後使用したいと思う除草剤(直近使用除草剤の「登録農薬」有無別)

< 実査時の呈示説明文 >

「農薬」(除草剤のほか、殺虫剤や殺菌剤など)は、使用上の注意を守れば安全です。
一方、「農薬登録されていない商品」は、国の審査を経ておらず安全性が確認されていません。

		n=	「登録農薬の除草剤」を使用したい	「農薬登録されていない除草剤」を使用したい	わからない・答えられない
2019年度調査 < 今回結果 >		1,000	33.9	3.5	62.6
直近使用 除草剤の 登録農薬有無別	登録農薬 使用者	695	36.0	2.0	62.0
	無登録農薬 使用者	305	29.2	6.9	63.9
2017年度調査 < 前回結果 >		1,000	33.1	4.2	62.7

今後使用したいと思う除草剤の回答理由ランキング

複数回答
特になし・わからないを除く

「登録農薬である除草剤」を使用したいと回答した人の回答理由 <TOP5> (n=339)

- Top1: 安全だから・安心だから (249件)
- Top2: 効果が高いから
環境・土壌・動物など周囲への影響が少ないから (各14件)
- Top4: 国の審査や基準を経ているから (13件)
- Top5: 人体・健康に影響がなさそうだから (11件)

「農薬登録されていない除草剤」を使用したいと回答した人の回答理由 <TOP5> (n=35)

- Top1: 価格が安いから (11件)
- Top2: 安全だから・安心だから (7件)
- Top3: 除草効果があるから (5件)
- Top4: 気軽に使えるから (3件)
- Top5: 強い効果を求めているから
環境・土壌・動物など周囲への影響が少ないから (各2件)

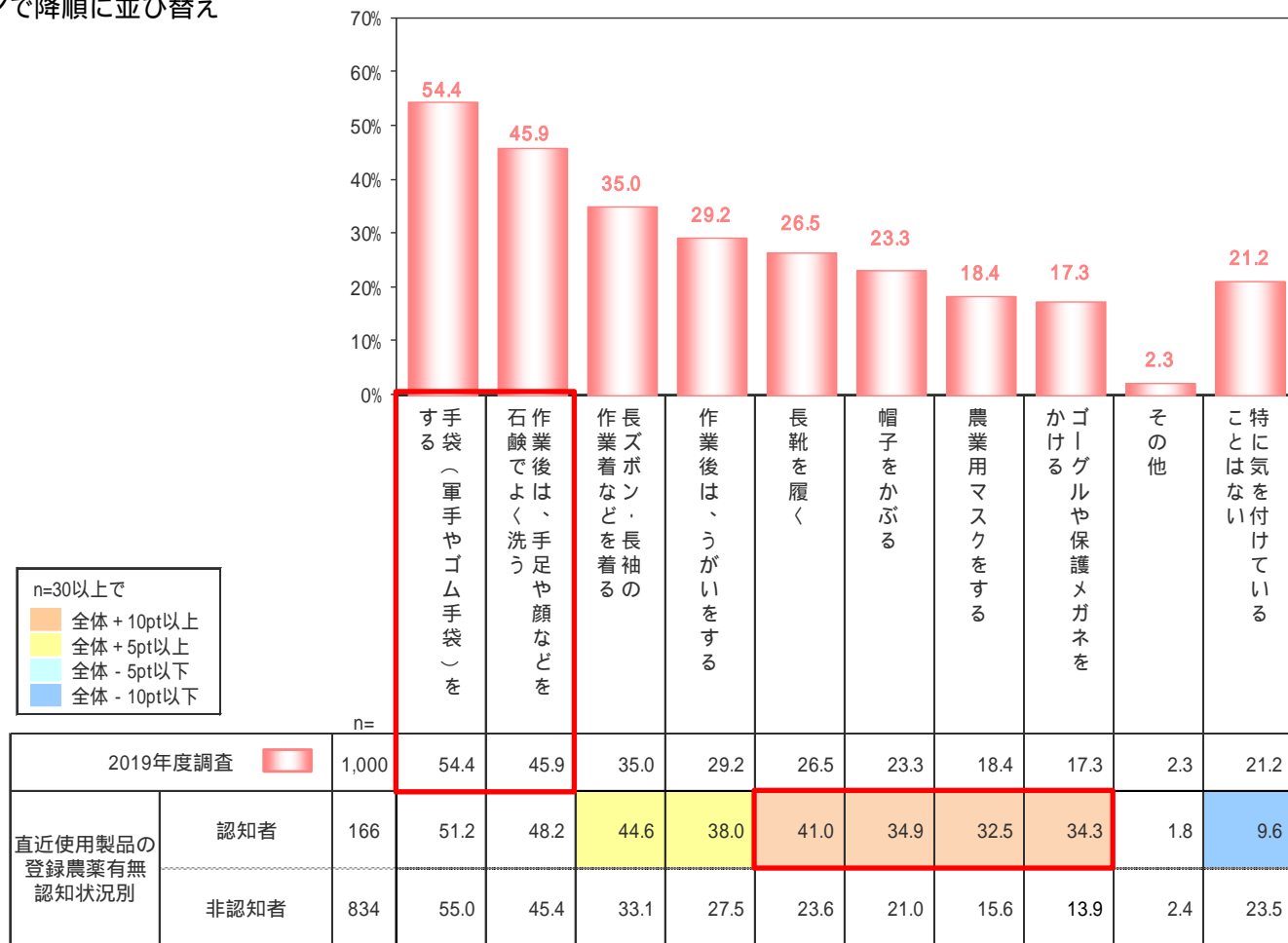
(14) 除草剤使用時に気を付けていること

除草剤使用時に気を付けていることをみると、全体では、「手袋(軍手やゴム手袋)をする」が54.4%で最も多く、「作業後は、手足や顔などを石鹸でよく洗う」が45.9%で次いでいる。

なお、直近で使用した除草剤製品の「登録農薬」有無の認知状況別にみると、『認知者』では、除草剤使用時に長靴、帽子など、身に着けるもののスコアが全体を上回っており、除草剤使用時に身なりを整えている様子が窺える。

除草剤使用時に気を付けていること(直近使用製品の「登録農薬」有無認知状況別)

グラフは全体スコアで降順に並び替え



4. 総括

直近で使用した除草剤製品

- ㊦ 直近で使用した除草剤のタイプをみると「AL剤タイプ」が全体の5割弱を占めており、前回結果(2017年度調査)と同傾向となっている。
- ㊦ 直近での使用製品における「登録農薬」有無の状況をみると、全体の約3割が「無登録農薬製品」を使用しており、前回結果と同傾向となっている。
- ㊦ また、「無登録農薬製品」の使用状況を性年代別にみると、男性30代以下、女性40代・60代での使用割合が、前回結果を上回っている。

除草剤製品における「登録農薬」認知状況

- ㊦ 除草剤製品に「登録農薬」があることの認知者は、全体の約2割となっており、前回結果と同傾向となっている。
- ㊦ また、除草剤製品に「登録農薬」があることを認知している人における、直近使用製品の「登録農薬」有無の認知状況をみると、約7割の人が使用製品における登録農薬の有無を認知しており、前回結果をやや上回っている。
- ㊦ 直近使用製品の「商品ラベル」の確認状況を聞いたところ、全体では約2割の人が「よく読んだ」と回答しており、この点も、前回結果と同傾向となっている。

除草剤製品購入時の「注意文」確認状況

- ㊦ 除草剤製品の購入時の『無登録農薬製品』に関する「注意文」の確認状況をみると、ECサイトでの購入時については、全体の35.0%が、また、店頭での購入時については、全体の21.0%が「見たことがある」と回答している。
- ㊦ 直近で使用した除草剤製品の「登録農薬」有無の認知状況別にみると、店頭での購入時では、『認知者』の約6割が「注意文」を確認しているのに対し、『非認知者』では1割強となっており、確認状況の差が顕著となっている。

除草剤製品購入時の「注意文」理解度

- u 除草剤製品の購入時の『無登録農薬製品』に関する【注意文】の理解度をみると、全体では「注意すべき点が思いつく」が54.9%となっており、半数の人が【注意文】を掲載しても理解するまでには至っていないことが確認できた。
- u 「注意すべき点が思いつく」と回答した人に、どのような点が思いつくかを自由記述で確認したところ、『樹木や花、野菜の苗などの周りでは使えない』と正しく理解をしている人がいる一方で、『一般家庭向きで、手軽』や『効き目がゆるめで、植物を枯らしてしまうことはない』など、誤った理解をしている人も見受けられた。
- u また、「注意すべき点は思いつかない」と回答した人に、その理由を自由記述で確認したところ、『そもそも農薬の概念が理解できていない』や『除草剤が農薬だと思ってないから』、『どのような場所、目的で使用するのかわからない』といった回答が散見され、現在の【注意文】においては、同一の理解が得られていないことが確認できた。

除草剤の直近での使用場所別の植栽状況

- u 直近で除草剤を使用した場所の植栽状況を確認したところ、「花壇」での除草剤使用者においては、7割弱の人が、『散布した場所から1m程度以内に樹木や草花があった』と回答している。

直近使用除草剤の使用効果満足度

- u 直近で使用した除草剤の使用効果満足度をみると、全体では、約7割が「満足」と回答。
- u 「満足」と回答した人における回答理由をみると、使用している製品タイプを問わず、『除草ができるから・雑草が枯れるから』が回答理由のトップとなっている。一方、「不満足」と回答した人では、『効果が弱いから』が回答理由のトップ。
- u 直近使用除草剤の「登録農薬」有無別にみると、『登録農薬』と『無登録農薬』の満足度に大きな差はみられない。

今後使用したいと思う除草剤

- u 今後使用したいと思う除草剤を確認したところ、全体では、約3割が『登録農薬の除草剤を使用したい』と回答。
- u ただし、前回結果と同様に、全体の約6割が『わからない・答えられない』と回答しており、除草剤に対する意識の低さが窺える。

< 提言 >

今回の調査では、店頭やECサイトでの『無登録農薬製品』に関する「注意文」について、【この除草剤は農薬として使用することができません】という、現在のメッセージが、一般消費者にとっては、どのようなことに注意をすればいいか、わかりにくいという点を確認できた。

特に、「農薬」とは何を指しているかを理解されていない方には、このメッセージが伝わらず、また、「農薬でないから、効果が弱い」など、誤った理解でいる方も散見された。

そのため、今後、「除草剤」に関する消費者の理解を深めていくためには、店頭等での<わかりやすい>表現による訴求が必要といえる。

「農薬」とは何か、また、その上で『無登録農薬製品』を使用することのデメリットは何かなど、掲示物等を見た方が、<どのような点に注意し、除草剤を使用しなければいけないか>を共通認識として、マインドセットできるような表現の検討や、アプローチ施策が必要といえる。

(施策案) 除草剤使用のエントリー層向けにわかりやすい動画を作成し、YouTube等で配信
店頭などで無料配布できるようなリーフレットの作成

